

令和8年度評価項目および評価指標（案）

資料 3

	2026	2025	2025	2025	2024	2023	2022	2021	取組の方向	取組予定	
	目標 R8年度	目標 R7年度	実績 R7年度	12月末 R7年度	実績 R6年度	実績 R5年度	実績 R4年度	実績 R3年度			
1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 - 資料・情報提供機能											
① 貸出と閲覧サービスの充実											
ア	人口一人当たりの貸出冊数(たちばな号含む)	5.00	5.00		3.48	4.77	4.64	4.80	4.94	選書、PRの工夫	利用者の増加や満足度の向上につながるよう、各種資料の充実およびテーマ展・おはなし会などの企画の充実のほか、図書館に関する広報に努める。 読書バリアフリー実現のための資料の充実を図るとともに、その活用環境の整備、促進に努める。
イ	予約数	40,000	35,000		27,608	40,983	40,514	42,162	44,871	PRの工夫	
ウ	大活字本、点字資料、LLブック等の受入冊数	70	60		66	55	165	39	34	積極的な選書	
エ	外国語書籍の受入冊数	60	60		44	62	71	23	46	積極的な選書	
オ	実利用者数	10,900	10,900		(5,325)	10,105	10,089	11,066	10,733	選書の工夫	
カ	新規利用登録者数	1,250	1,250		1,144	1,385	1,228	1,964	2,034	選書、PRの工夫	
キ	年間貸出冊数(個人・たちばな号)	525,000	-	-	384,323	(527,653)	(513,856)	(535,498)	(550,387)	選書の工夫	
ク	資料受入冊数	10,500	10,500		6,677	9,663	13,235	14,184	13,696	予算の確保、適切な選書	
ケ	たちばな号の利用者数	4,000	4,000		2,854	3,619	3,849	4,102	4,124	ステーションの位置検討	
コ	たちばな号の貸出冊数	25,000	27,000		16,399	22,576	24,216	26,540	26,579	選書の工夫	
② レファレンスサービスの充実											
ア	レファレンスサービスの件数	242	242		210	287	242	116	165	PRの工夫	レファレンスはその場で行い、時間を要するものは改めて回答するなど工夫しながら対応する。 職員研修は、休館日を利用して実施する。 外部研修への参加者数は予算と人員配置の制約もあるため、可能な範囲で参加者数を維持し、自己研鑽および伝達研修を行うよう取り組む。
イ	職員研修の実施回数	11	11		7	11	4	2	2	職員研修の充実	
ウ	外部研修(県立図書館等主催を含む)の参加者数(延べ人数)	25	20		25	21	20	17	10	各種研修への積極的な参加	
③ 暮らしに役立つ情報の提供											
ア	テーマ展示の実施回数	43	43		32	43	43	43	37	PRの工夫・展示コーナーの充実	テーマ展示実施回数は、テーマに即した展示期間を設定しながら開催する。 中高生の利用者数は、中学生にとって魅力的な図書の見つけ方や展示方法の工夫などを行う。
イ	中高生の利用者数(実利用者数)	640	640		(181)	626	640	634	633	魅力的なテーマ展示の実施	
④ インターネットによる情報の発信											
ア	お知らせ、行事案内のホームページ掲載回数	120	120		74	83	95	120	65	積極的な情報発信	ホームページについては、市民が知りたい情報や来館につながる情報をタイムリーに提供するようにする。 広報ひこね等へ行事案内などの掲載に努める。 広く市民に周知したい情報の積極的な提供に努める。
イ	広報紙の掲載回数	25	25		18	29	29	20	15	積極的な情報発信	
ウ	報道機関情報提供の回数	20	20		12	19	15	21	7	積極的な情報発信	
2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 - 資料収集・保存・支援機能											
① 資料収集・受入・整理											
ア	郷土資料の受入冊数	330	320		275	383	414	396	662	適切な選書	郷土に関する資料の選書や資料の受入れを行う。
② 資料の保存・活用											
ア	資料の展示・公開回数	4	3		3	3	2	1	0	資料の整理	資料展示を行うために、所蔵資料の整理を進めるとともに、専門的な知識を有する学芸員職員との連携を図る。 舟橋聖一顕彰青年文学賞への応募数の増加を図るため、従来の広報のほか、市X(旧ツイッター)や応募期間に合わせたテーマ展の開催など、広報の方法をひろげる。
イ	古文書・貴重資料の調査・研究の対応回数	59	59		24	34	54	59	59	職員研修の充実	
ウ	舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数	45	45		38	32	45	33	40	PRの工夫	
3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 - 学びの場の提供											
① 子どもの読書活動の推進											
② 子育て関係機関・団体との連携											
ア	学校への団体貸し出し数(小・中・高)	1,600	1,630		1,287	1,420	1,627	1,305	1,214	学校へのPR、貸し出しリストの作成	学校と協議を行う機会などを捉え、団体貸出の積極的な活用を促す。 館内やホームページ等での開催案内を行う。読み聞かせ会などの機会を捉え、登録者数の増加に努める。 乳幼児とその保護者に対し読み聞かせの大切さを伝える。
イ	読み聞かせ、ブックトークの参加者数	390	320		385	361	314	271	118	実施の検討・準備	
ウ	未就学児の登録者数(6歳以下)	720	720		(610)	665	687	726	727	啓発活動の推進	
エ	乳幼児と保護者への読書啓発(健診等での啓発資料配布人数)	660	680		504	653	-	-	-	啓発活動の推進	
4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 - 滞在型図書館の機能											
① やすらぎのある図書館づくり											
② 居場所としての図書館づくり											
ア	利用者アンケート9-③(居心地)の平均点	3.5	3.5	3.3	3.3	3.5	3.4	3.3	-	居心地の良い空間づくり	利用し易い環境づくりなどに努める。 接遇の研修を行い、利用者満足度の高い対応ができるようにする。 テーマ展示の開催など館内に回遊性を持たせた開架スペースとするなど、ゆっくりと図書を選べる環境づくりに努める。 主催事業やテーマ展示のPRに努めるほか、資料の充実にも努める。
イ	利用者アンケート9-④(職員の態度)の平均点	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	-	接遇の向上	
ウ	貸出者数(個人・たちばな号)	96,700	-	-	74,872	(96,710)	(92,169)	(97,663)	(100,507)	魅力ある図書館づくり・利用者の開拓	
5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 - 活動支援機能											
① 多目的な活動を支える場所の提供											
ア	集会室の利用数	110	110		75	106	108	113	78	利用条件の整理	集会室の利用は、第1集会室のみとなっているが、図書関連ボランティア団体等が活用されるよう取り組む。 図書館主催行事は、PRに努め、イベント内容の工夫を行い開催とする。 学校と連携した学習と研究成果を発表できる場所の提供を行う。 図書館見学や職場体験などの受入れを行う。
イ	図書館主催行事の開催数	26	26		23	26	23	29	18	イベント内容・対象の研究	
ウ	学校との連携による受入れ数と研究発表場所の提供数	25	25		17	25	-	-	-	学校との連携を検討	
② 図書館に関わる各ボランティア団体との連携と協力											
ア	ボランティア団体との連携回数	5	5		4	6	5	5	4	各団体との意見交換の実施	館内掲示や広報ひこね・ホームページへの掲載等により、各団体の活動について広く市民にPRする。図書の貸出等の支援。
イ	図書館ボランティア参加人数(延べ人数)	100	100		75	121	109	118	15	各団体の活動紹介に協力	
ウ	地域文庫への図書の貸出数	3700	-	-	3,152	-	-	-	-	新規立ち上げ、継続活動への支援	

参考 開館日数 200日 276日 263日 275日 278日
 参考 令和7年12月末時点来館者数 117,155人